

令和5年3月24日

区自治協議会提案事業 事業評価書

秋葉区自治協議会(第3部会)

区分	内容
テーマ・事業名	Akiha おとな大学 【事業費予算 911千円】
事業目的・概要	秋葉区の特徴や史跡・旧跡、魅力ある歴史を学んでもらうことで地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、学びを次世代に引き継ぐ、未来につながる主体的な学びの機会とする。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>【おうち de もち麦cooking】</p> <p>① 第1回: 8月3日 26組発送 ② 第2回: 12月17日 15組発送 ③ 第3回: 2月10日 30組発送</p> <p>【里山トレッキング】</p> <p>11月13日(日)雨天中止 参加申込14名</p> <p>【歴史講演会】</p> <p>令和5年1月22日(日) @秋葉区文化会館 講師:新潟シティガイド 本田富義氏 参加者数87名</p>
事業の評価	<p>【評価】</p> <p>① もち麦cooking PR動画の制作・もち麦の歌や踊りなど、積極的な活動が行われた。もち麦ダンスでは自治協議会メンバーの意識が高揚した。オンライン方式の開催は評価できる。周知、PR方法に工夫が必要だが市のLINEによる募集は、効果的な手段と推察される。 少しずつもち麦の存在を伝えることができ、引き続き活動していくことで、さらにもち麦をアピールできると思う。これによって、秋葉区の産業振興の一助になればよい。</p> <p>② 里山トレッキング&歴史講演会 部会の目標である、区民が秋葉区の自然や、地理・歴史を知り、更に、愛着を持って若い世代や子どもたちに伝えていくなど、担い手を作っていくきっかけづくりができたと思う。 健康ウォーキング向けの「菩提寺山コース」は自然を満喫しながら初心者でも登れる山であり、ガイドさん付きを計画した事は良かった。 歴史講演会はやむを得ない事情で開催が延期となったが、市民の関心も高く、87名の市民が参加。会場の再調整など事務局と部員が協力して行うことができた。高齢者は地域の歴史に対して興味・関心を持っていることが確認され、過去の歴史を知り、郷土に対する関心を高めることができたものと評価できる。</p>

地域課題の区自治協議会提案事業
事業評価抽出方法
や企画立案の評価
事業の公益性・実効性・効率性の評価など

【今後への提案】

レシピ動画も、事業継続への条件整備となったことや矢代田小学校とのつながりを今後の展開に活用できるよう配慮が必要。

もち麦の効果をPRするためには健康講座を開催して知名度を上げることや、新しいメニューの開発やコンテストの実施も有効。2年目からは「もち麦をもっと知ろう」という視点も入れてもち麦の栄養学的な特性やレシピなど、更なる興味を引き上げてもらえるような手段が必要と考える。

また、里山トレッキングは同様の事業を区役所の他部署で行われたことから、関連事業の情報収集を行うなど連携することも必要。さらに、区内各地域の歴史的施設、景観を訪ね、そこに何故そのようなものが在るのかを学ぶツアー等の実施も効果的。

デジタル社会に対応する為のスキルを身に着ける講習会を開催し、多くの区民が自ら情報収集、学び、情報発信で活用できるような取り組みやコミ協と連携し、希望する地域の紹介動画作成を支援し、魅力を発信することも必要と考える。

【課題】

提案事業としての意義は、地域課題を明らかにし、その解決に向けた取組を行政に反映させることではないだろうか。この観点からの提案事業を企画する必要がある。

白雪もち麦の魅力を発信するため取り組んだが、区民の反応は鈍い。どうすれば関心を持ってくれるか？もち麦の消費には民間企業との協業が必要。産業振興課を主体として販路拡大を推進するなど区事業への発展的展開への検討が必要。Cooking を継続していく場合、材料の取扱いや適正な料金などの検討が必要。

里山トレッキングは、次年度同様の企画を行うのであれば、参加者に対しての連絡方法や雨天時の活動も同時に検討する必要がある。